

かしま 議会だより

第65号

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314
■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 鹿島印刷株式会社

平成23年7月



ケイタク田植祭

5月22日(日)、早ノ瀬地区の棚田で減農薬の米作りに取り組んでいる人気ギターユニット「ケイタク」の田植祭がありました。

今回の記事・企画

6月定例会日程と議案	2～3P
議長・副議長あいさつ	4P
議案審議	5～6P
一般質問	6～9P
常任委員会紹介	10P
議会運営等改革検討会	11P
議会あれこれ・議長交際費・編集後記	12P

定例会

五月臨時会

平成23年 鹿島市議会

5月臨時会会期日程

1、会期

自 平成23年5月13日
至 平成23年5月17日

2、日程

【5月】

13日 開会

- ・議長の選挙
- ・副議長の選挙
- ・議席の指定
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定

14日 休会

15日 休会

16日 常任委員の選任

- ・議会運営委員の選任
- ・杵藤地区広域市町村圏
組合議会議員の選挙
- ・鹿島・藤津地区衛生
施設組合議会議員の
選挙

- ・佐賀県西部広域環境
組合議会議員の選挙
- ・佐賀県後期高齢者医
療広域連合議会議員
の選挙

17日 議案の一括上程

(市長の提案理由説明)

- ・議案審議
(質疑、討論、採決)
- 閉会

議案

(1) 議案第24号 専決処分事項

の承認について(鹿島市国民
健康保険税条例の一部を改
正する条例)

(2) 議案第25号 専決処分事項

の承認について(鹿島市国民
健康保険条例の一部を改正
する条例)

(3) 議案第26号 専決処分事項

の承認について(平成22年度
鹿島市一般会計補正予算第
9号)

(4) 議案第27号 専決処分事項

の承認について(平成22年度
鹿島市老人保健特別会計補
正予算(第3号))

(5) 議案第28号 専決処分事項

の承認について(平成23年度
鹿島市一般会計補正予算(第
1号))

(6) 議案第29号 鹿島市監査委

員の選任について

13日 開会

2、日程

1、会期

自 平成23年6月13日
至 平成23年6月30日

六月定例会

13日 開会

- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の一括上程
(市長の提案理由説明)

	中村 一堯	稲富 雅和	勝屋 弘貞	竹下 勇	角田 一美	伊東 茂	松尾 勝利	松本 末治	光武 学	徳村 博紀	福井 正	水頭 喜弘	橋爪 敏	松尾 征子	橋川 宏彰	中西 裕司			
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	承認	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	議長	賛成全員	同意	

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	承認
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	採択
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	賛成全員	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 除…除斥(議案に利害関係を有するため審議に参加できない)

- 市長提出議案等
- (1) 報告第2号 平成22年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について
 - (2) 報告第3号 平成22年度鹿島市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
 - (3) 報告第4号 平成23年度鹿島市土地開発公社事業計画について
 - (4) 議案第30号 専決処分
- 14日 休会(議案研究)
 15日 休会(議案研究)
 16日 休会(議案研究)
 17日 休会(議案研究)
 18日 休会
 19日 休会
 20日 議案審議
 ・質疑、討論、採決
 21日 休会(議案研究)
 22日 常任委員会(請願)
 23日 休会(議案整理)
 24日 一般質問(3名)
 25日 休会
 26日 休会
 27日 一般質問(3名)
 28日 一般質問(3名)
 29日 一般質問(2名)
 30日 委員長報告、議案審議
 ・質疑、討論、採決
 閉会

議案

- 事項の承認について(鹿島市税条例の一部を改正する条例)
 (5) 議案第31号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について
 (6) 議案第32号 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
 (7) 議案第33号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について
- 議員提案議案等
 (1) 意見書第1号 教育予算の拡充を求める意見書(案)
 (2) 意見書第2号 原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書(案)
- その他
 (1) 請願第1号 教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願
 (2) 動議 農商工連携推進特別委員会設置に関する動議
 (3) 動議 まちなか活性化特別委員会設置に関する動議

次のことを審議し決定しました

【5月臨時会】

議案第24号	専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
議案第25号	専決処分事項の承認について(鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例)
議案第26号	専決処分事項の承認について(平成22年度鹿島市一般会計補正予算(第9号))
議案第27号	専決処分事項の承認について(平成22年度鹿島市老人保健特別会計補正予算(第3号))
議案第28号	専決処分事項の承認について(平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第1号))
議案第29号	鹿島市監査委員の選任について

【6月定例会】

議案第30号	専決処分事項の承認について(鹿島市税条例の一部を改正する条例)
議案第31号	平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第2号)について
議案第32号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
議案第33号	平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について
請願第1号	教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する請願
意見書第1号	教育予算の拡充を求める意見書(案)
意見書第2号	原子力発電所の安全対策の強化等を求める意見書(案)
動議	農商工連携推進特別委員会設置に関する動議
動議	まちなか活性化特別委員会設置に関する動議

就任ごあいさつ

鹿島市議会 議長 中西裕司

今、「地方」新時代を迎えて、「地方」は大きく「変革」しようとしています。地方の課題は何かを見つけ、その解決には自己決定、自己責任、自己負担が問われます。

議会には真に地方における地方自治の二元制の二元として二翼を担う重要な役割を果たすこととなります。



議会は平成二十二年に「鹿島市議会基本条例」を制定しました。市民と議会、行政と議会のあり方を決定し、市民に開かれた議会運営を図り、もって市民の負託に応えることになっていきます。議長就任後、「鹿島市議会運営等改革検討会」を設置し、二つのプロジェクトに議員がそれぞれ所属し、検討後報告し提案することになっていきます。

また、議員の資質向上を図る為、新たな「議員研修」を行い、「陳情型議員」から「政策立案型議員」への脱皮を目指します。さらに、六月議会からインターネットの動画共有サービス「ユーストリーム」による本会議のライブ配信をオンデマンド対応として録画配信を行い、全世界に向け情報発信を行つていきます。

公平公正公開の原則で、議会運営を図り、もって地方の「顔」として誠意創意熱意をもって市民と共に歩んで行きたいと思えます。

就任ごあいさつ

鹿島市議会 副議長 橋川宏彰

さる三月十二日の東日本大震災で未曾有の被害を受けられました方々に心より御見舞い申し上げます。

今回五月十三日の臨時議会において、議員の皆様御推挙により副議長に就任いたしました。身の引き締る思いであります。

議員の役割は市民の皆様の声聞きながら、市政に取り組んでいくべきだと思っております。鹿島市の財政状況は十八年度より五ヶ年計画で取り組んできました。財政基盤強化計画にて一定の成果をあげてまいりましたが、厳しい事になり、産業・少子高齢化・人口減等と共に対策が求められております。

このような状況のなかではありますが、市民の皆様生活や環境を良くする為にも議員の役割は大きいものと思っております。今年度より実施される第五次総合計画に沿った鹿島市作りを目指さなければなりません。鹿島市の発展は行政議会、市民が同じ方向性で取り組み、市民の皆様の声を市政に反映できるよう頑張つてまいります。



議案審議

議案第31号

農業者戸別所得補償制度推進事業について

橋爪 敏議員

質問 22年度は所得補償制度のモデル事業が実施されたが、鹿島市に於ける成果は。又、23年度は本格実施されるが変わった点があるのか。なお、市として法人化への推進はされるのか。

答弁 米に対して一定額が助成され、市で対前年比約二億五千万円の増額の成果があった。米に加えて畑作物の所得補償も実施され、大豆では、反当三万五千円が約七万三千円助成と増額変更される。集落営農の法人化のメリットとして、担い手の確保、六次産業化や地域



議案審議

議案第31号

農・商・工連携事業について

稲富 雅和議員

質問 農商工連携事業において、六月補正予算で886千円増額されているが、そのおまな用途をお聞き致します。

答弁 おもには、出張旅費でのおもな出張先は、東京都、福岡県、北九州市、長野県等で市場や仲買業社等に出向いて消費地調査の実施を計画している。

議案第31号

放課後児童クラブ環境改善事業について

徳村 博紀議員

質問 以前から放課後児童クラブの部屋に空調設備を設置していただきたいと申し上げておりましたが、この度(明倫小・古枝小・七浦小)に設置していただけるということ、まずは関係執行部の皆様にお礼を申し上げます。最初の予算額からしますと、かなり補正額が大きくなっているようですがこの原因は何ですか?また工事に

関しての入札は市内業者で行っていただきたいと思いますが、いかがですか?

答弁 配電工事等新たな箇所があり、それが理由です。入札につきましては市内業者で考えております。



議案第31号

平成23年度鹿島市一般会計補正予算について

松本 末治議員

質問 寄付金活用事業において、地域共生ステーションの推進(ぬくもいホーム)整備助成金がある。各自治公民館の実態を見れば、バリアフリー化が新築公民館以外は遅れている。今や自治公民館こそ老人クラブ活動の拠点であり、老人クラブ会員が集まり易く利用しやすい「ぬくもいホーム」化の為に地域福祉基金を活用していただ

けないか。

答弁 寄付金の目的は老人主体とした利活用施設が対象であり、公民館は老人のみの利用施設ではないので無理です。



議案第33号

鹿島駅・駅周辺整備について

松尾 征子議員

質問 鹿島駅整備事業が行われる。バリアフリー化は勿論鹿島市の玄関口として喜ばしいこと。さらに駅周辺整備について、駅舎とバスセンター間の道路の問題について、「目の不自由な人が利用しにくい」と以前から改良を要求し続けてきた。「スカイロード207号改良の時」と「土木

事務所と協議を」等その都度回答を得た。早急な取り組みが必要と思われるが。

答弁 普通の人にも厳しい。24年から取り組みの中で計画を作り上げていき

たい。

議案 審議

議案第33号

平成23年度鹿島市一般会計補正予算について

竹下 勇議員

質問 今回の補正予算で購入する放射線測定器の使用計画はどうなっているのか。

答弁 携帯用測定器は、東日本大震災に派遣する

職員に携帯させる。その他の物は、玄海原発に何かあった場合に、すぐ利用できるように準備するものであり、現在モニタリングなどの計画はしていない。



一般質問

一般質問

障害者グループホームの設置促進について



角田 一美 議員

質問一 医療ケア付き重症心身障害者グループホームの設置促進は喫緊の課題と思うが、設置促進、支援方針を問う。

答弁 ハードルは高いが、どうすれば実現可能か現時点での条件、制約の中で、行政がどこまで支援できるか具体的段取り、実務的方策を整理して対応したい。

観光対策について

質問二 中木庭ダム周辺施設整備に多額の経費を投入されてきたが、能古見地区の振興や観光客誘致に充分活かされていない。

各種大会の誘致や体験学習等ソフト事業に取り組み必要があるが今後どう取り組むのか。

能美の郷食堂施設の整備拡充について要望があるが、今後の整備計画はどうなっているのか。

答弁 来年3月に市主催の海の森事業と県主催の植樹祭を合同で実施したい。

ダム周辺整備事業は来年度で終了することから要望の整備拡充については今年度中に地元振興会と協議して対応してまいりたい。

振興策の展開については、鹿島ニューツーリズム事業を能古見地区にも拡大し、鹿島市全体で取り組むよう地元及び市観光協会と協議して後押ししてまいりたい。

安心・安全なまちづくり



稲富 雅和 議員

質問一 避難をスムーズにすることも目的ですが、日頃から避難所を示す標識や看板があることで市民の防災意識も高まることも期待できます。標識、看板は安心して住んで頂くために有効だと思えます。

答弁 市、消防団及び自主防災組織が災害状況、被害の程度を的確に判断して最も安全な避難所経路を選択して迅速に誘導を行うので避難誘導する者は少なくとも避難所がどこにあるかについてはあらかじめ認識している。

観光客等地理に不案内の観光客等が避難する場合は、避難場所が異なるため標示の工夫等今後検討が必要となる。

質問二 新たな次産業の今後の取り組みについて、農商工連携、6次産業化の具体的な取り組み、今後の展開計画をお伺いいたします。

答弁 みかんの花については、つまものとしての活用、新業については食用としての商材、アスパラガスは選果切り落とし部分を有効活用するため市場及び中卸、料理人と連携し新たな食材として検討を進めている。

手のひらよりやや大きいミニ白菜の試作を行い横浜の中華料理店に送り評価を求めているところである。今後このような取り組みを二層推進していき既存品目の付加価値を新規品目等の有利販売につなげてまいりたい。

安全安心の鹿島市を目指して



福井 正議員

【質問一】 3月11日の東日本大震災では、2万3千7百名強の死者行方不明者、家屋倒壊や交通や製造インフラ被害等甚大な被害をもたらした。日本経済や日本国民に多大な被害をもたらした。

また、福島第1原発事故により、放射能被害が発生し半径30キロの住民が避難せざるを得ない状況であり、日本国民に原発に対する不安が沸き起こっている。この状況は鹿島市にとっても他人事ではなく、災害への備え、災害時の対応、今後の施策を見直すこととなった。鹿島の公共施設、避難所、河川、堤等の対震度と、安全性、水道管、下水管の対震度は。

【答弁】 堤は42箇所ある。そのうち9か所が廃止、14か

所が改修の必要がある。河川堤防の土の堤防は、決壊しても補修が簡単である。

上水道下水道の耐震性を考慮して埋設している。

避難所の対震度は十分でない箇所もある。市役所の耐震診断はしてある。食料水備蓄はないが、水はJABレタージュと災害時供給協定がある。



【質問二】 玄海原発に対する鹿島市の見解は。

【答弁】 判断は慎重のうえ慎重にする。国等の詳しい情報提供が必要である。



第5次鹿島市総合計画の実践について



竹下 勇議員

【質問一】 第5次総合計画で、5年後の人口目標を、3万人人と設定してあるが、今の人口減少の状況からみて達成が難しいと思う。

目標をたて、その達成に向けて事業を行うことはい

いが、歳出を伴う事業は、実際に即した数字でなければ

過大投資を生む事になるのではないかとお尋ねします。

【答弁】 人口減少に歯止めをかける事が最重要課題であり、その解決に向けあらゆる事業を展開し、3万人人を実現させたい。

実際の事業を行なうときは、現実に即した数字を使用していく。

【質問二】 鹿島駅舎改修及び鹿島駅周辺整備は、観光、公共交通、JR利用客の送迎、市外通勤・通学を踏まえた住宅の問題、整備後の店舗の張り付きなど総合的に考えていく問題ですが、担当する課はどこか。

また、改修計画の内容の協議は、いつから、どのような形で進められていくか。

【答弁】 長年の課題であった駅のバリアフリー化は、多くの人の協力で早速取り組みができた。

この後9月をめどに、企画課・まちなみ建設課・商工観光課などの全庁的な取り組みとして24年から27年の総合整備計画をまとめていきたい。



住宅改修補助制度について



松尾 征子議員

【質問一】 4月からバリアフリーのみではあるが住宅改修補助制度が始まり関係者に喜ばれている。県は住宅助成制度をやる方向で出

発した。これに合わせ鹿島市も早急に取り組むべき

だ。特に住宅の耐震化を進めるためにも助成を急いで

もらいたい。

【答弁】 県は住宅支援資金として20億円を提案した。県としては9月補正で予定。市町への間接補助。市独自の補助はバリアフリー

助成。県の補助と効果的に併用できるように考えてい

きたい。実施は十月からで検討する。県の補助が入ればすみやかに実施したい。

投票所の見直しについて

【質問二】 今回の市議選で投票所に関する苦情が多

かった。「遠い、坂道階段がある車いすがない」等である。特に中心部の武道館に

ついては「高齢者を連れて行った、車を止めるところがない。車いすもない。階段

もあり投票させられる状況でなかった。」という声がある。投票率平均六九・十

五%に対して五九・七三%という低さ。投票所の見直しを。

【答弁】 武道館に車椅子がなかったことについては反省し、お詫びする。連絡を受け配置した。今後は配置をしたい。武道館の投票所については今後選管での協議が必要であると思う。



一般質問

一般質問

第5次鹿島市総合計画（5次総）について



勝屋 弘貞 議員

質問一 市長が思う理想の鹿島協働とは。

答弁 鹿島市が輝いていた時代に作った市民憲章。ある意味では坂の上の雲ではないかと思うが、これを目指し5次総を定めたとするならば、絵に描いた餅にならないように頑張らねばならない。

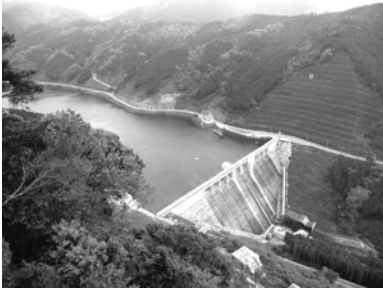
主役は市民。市は発信して市民が何をすればいいかという話ではない。市民の思いを市が汲み取って、コーチ・アドバイザーの役割という基本的な考え方で市は動いていく。市のケツを叩くくらいの気分で、市民の皆さんに自主性を持つて

頂き、市に発信をしてもらいたい。

5次総を市民が知らない、伝わっていないという事は反省する点。市民の皆さんにアイデアをいっぱい出してもらって、他の町に負けなような施策を組み、行動をする。

そういう意味で地域間競争が始まるということだ。

負けない方向を目指し、負けない作戦を立てて市民・地域と行政が相互に発信して、知恵とアイデアをキヤッチボールするという事が、まさに協働ではないだろうか。



企業誘致について



中村 一堯 議員

質問 鹿島市の人口は平成22年に30772人、25年後には23800人まで減少するという予想も出されています。

そういう状況の中で、若者が鹿島で働けて、鹿島に住めるまちづくりをしなければならぬと考えます。その一つの施策として、企業誘致だと考えます。佐賀県では、10年間で145件の企業が県内の工業団地に進出しており、鳥栖市では44件、佐賀市では20件の企業誘致が行われました。一方、鹿島では10年間で3件の企業進出。谷田工業団地は平成4年から19年間売れ残っている状態です。

今後、企業誘致を促進するためにどのように考えているのか。

答弁 鹿島は交通ハンディを持つているので、まず鹿島周辺地域と一緒に県に道路整備の要望を努力しながら、同時に非製造業の企業誘致も促進したい。

今、企業誘致の作業が進んでいるが、大豆と食肉を利用した企業と相談している。話が決まり次第報告する。また、企業誘致だけではなく、住居の問題も出てくるので、他の町よりも有利な住居環境を整えようと考えている。



住みやすく、暮らしやすいまち



伊東 茂 議員

質問一 5次総合計画「安全の確保」についての重要施策に自主防災組織の結成の推進があるが、結成した地区組織では防災用具購入費及び活動費の予算捻出に苦労されている。避難訓練や広報活動を活発に行なうためにも行政側からの支援が必要である。

答弁 自主防災組織を5年間で市内全地区結成を目指している。各地域での自主的活動は防災対策の上で非常に高い重要性を持つていて考えている。今後、行政からの支援体制を導入し支援内容を具体的に検討していく。

地元で仕事ができる環境づくり

質問二 企業誘致推進へ向けて本市の自然環境豊かな地下水など土地柄を生かせる産業の絞込み、6次産業の拠点地、新工業団地の早期選定など早急な取り組みと行政姿勢が求められる。

本市独自の専門分野の誘致戦略室の設置を提案したいが執行部の考えは。

答弁 企業誘致を有利に進める上で、重要なのが物流コストを抑え円滑に行なうため高速道路までの道路整備網が必要である。厳しい現状を早急に改善することが必要であり時期を見ながら検討していく。



一般質問

安心・安全なまちづくり



水頭 喜弘 議員

質問一

災害が発生した場合、行政の素早い対応が復旧・復興には不可欠であり、被災者の情報を二元的に管理できる被災者支援システムを平時のうちに構築していくことが極めて重要であると思います。

答弁

使い勝手のいいシステムであるので情報のデータベースとシステムが合うのか合わないのかを含めて勉強したい。



災害対応型自動販売機の導入について

質問二

大規模災害でライフラインが途絶えた際に、遠隔操作により自動販売機内の在庫飲料を無償で取り出すことができ、緊急時には災害情報の配信、さらにAEDが搭載されているタイプもあるが、この災害対応型自動販売機が自治体に広がりつつあります。

答弁

これは自治体と飲料メーカーとの間で、災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定を締結することによって実現できるものですが導入の考えは。

答弁

設置に向けて協定を締結し、今直ちに入れ替えるのか、更新時に入れ替えるのか、新たな設置箇所を設けるのか、設置に向けて前向きに検討したい。

鹿島市地域防災計画の見直しについて



松尾 勝利 議員

質問一

東日本大震災を教訓として、鹿島市はどう対応されるのか。

答弁

鹿島市の地域防災計画は、国の防災基本計画、佐賀県地域防災計画にのっとったもので、改める場合は整合性をとって必要な手続きをする。

災害に強いまちづくり

とは、事前に備えができていけるか、万がそのときにも対応できる用意があるかである。ハード面では緊急対応の施設は大丈夫か、ソフト面では組織体制は充分か、訓練はできているかなど見直しを進めている。

質問二

諫早湾干拓、開門調査に伴う環境影響評価の中間報告が示された。この報告についてどう思わ

第五次総合計画と平成23年度事業



松本 末治 議員

質問一

農業振興(防災対策)浜川下流域南舟津及西葉排水機場周辺。北舟津側新浜大橋付近は、防潮堤防が不備である。もし大潮高潮時に台風(強風)もしくは津波でも発生したら、農地はもとより、民家も山側からの水難より、海からの海難災害は甚大なものになると思われるが今後の対策について？

答弁

浜川は県営高潮対策事業で(平成2、平成30)実施中で市道拡幅、用地買収等で今後の対応である。又、西排水機場海岸は堤防が低い、農地海岸であり県の管轄であり農林事務所との検討となる。

少子高齢社会への対応

質問二

少子化ストップで市PTA会員数の激減。平成23年対平成3年では七浦44.5%、北鹿島53.5%、のみ59.3%、浜60.6%、古枝74.7%、鹿島72.3%、明倫71.0%、全体65.7%と大きい。元気な高齢者では、老人クラブ活動は大きな市全体の活性へつながる。地区によっては、老人クラブ間交流を行ない、これこそ元気な高齢者づくりと感心している。現在の実態についてお伺いする。

答弁

PTA会員数減は現実で活性化も必要、子供達の「幸」への願は変りない。小中学校のより充実を図る。老人クラブ活動は、グラウンドゴルフ大会、清掃、健康づくり、花いっぱい運動等、多くの活動がなされている。



議会運営委員会

皆様こんにちは。この度、議会運営委員会の委員長を仰せつかりました徳村です。

この委員会での主な仕事は、会期・議事日程・請願意見書・議会関係の条例・規則の制定・廃止、選挙の方法・特別委員会の設置・議長の諮問・議会運営に必要な

なことを協議する委員会です。委員会構成は6名で各常任委員会から3名内委員長(2名)は無条件で選出されます。この議会運営委員会は議会の中で非常に重要な役割を担っています。6名で力合わせて全力で頑張っていきたいと思



●委員長 徳村博紀
●副委員長 伊東 茂
●委員 松尾勝利 松本末治 福井 正 橋爪 敏

総務・建設・環境常任委員会

総務建設環境委員会は8名の議員で構成されています。総務は企画、防災

建設は公共施設や道路建設等。環境はごみ処理、公共下水道などを担当します。特に3月11日の東日本大震災の結果、鹿島市の防災について更なる強化

策に取り組む必要があり、また市道や公共交通等交通インフラ整備や交通弱者対策も喫緊の課題です。ごみ処理、公共下水道の今後についても、市民生活の向上を図る事業であります。これらの施策に8名の委員でしっかり取り組まさせていただきます。



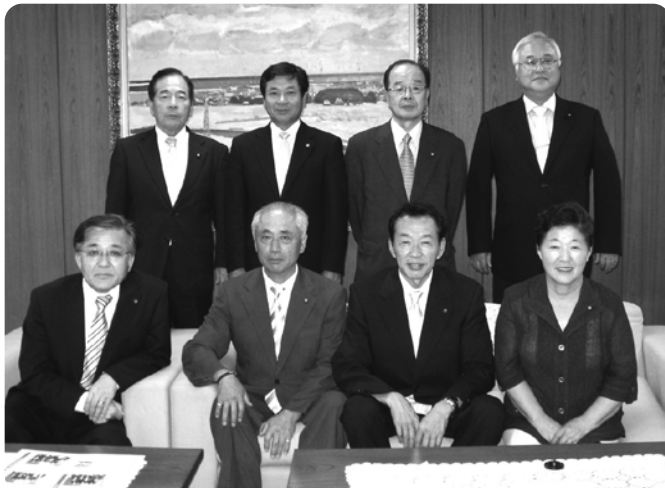
●委員長 福井 正
●副委員長 光武 学
●委員 中村一堯 稲富雅和 勝屋弘貞 徳村博紀
橋爪 敏 橋川宏彰

文教・厚生・産業常任委員会

私たちは、新しく文教厚生産業委員に選出されました。

文教厚生産業委員会は、生まれた子供から高齢者に至までの教育・福祉厚生・保険健康の全般と厳しい環境下の産業と多岐にわたっており責任の重大さを感じています。

委員全員がしっかりと勉強し時代認識をし、鹿島市政が活性化し発展するために、市民の皆様の率直なご意見など頂き委員会の役割を十分発揮できるよう全力で取り組んで参る覚悟です。どうぞよろしくお願い致します。



●委員長 松本末治
●副委員長 伊東 茂
●委員 竹下 勇 角田一美 松尾勝利 水頭喜弘
松尾征子 中西裕司

鹿島市議会運営等改革検討会が発足しました。

平成二十二年に鹿島市議会基本条例を制定し、議会改革に継続的に取り組むため「議会運営等改革検討会」を設置しました。

具体的には、「議会報告会・議場開放」「政務調査費」「議会だより・ICT」の三つのプロジェクトチームを発足させ、議員自ら議会改革を行う体制を整えました。

鹿島市議会運営等改革検討会

会長:中西議長 副会長:橋川副議長

議会報告会・議場開放プロジェクト(6名)

【課題】①組織体制②日程等開催内容等③子ども議会④女性議会の開催

- ◎福井議員
- 竹下議員
- 中村議員
- 稲富議員
- 徳村議員
- 中西議長

政務調査費プロジェクト(6名)

【課題】①目的、内容を再認識し、交渉を含め条例化に向けて検討。

- ◎松本議員
- 光武議員
- 勝屋議員
- 水頭議員
- 橋爪議員
- 橋川副議長

議会だより・ICTプロジェクト(4名)

【課題】①正式な会議としての位置付け②地方自治法の協議の場等③ICTを使った広報公聴

- ◎松尾勝利議員
- 松尾征子議員
- 角田議員
- 伊東議員

◎チーム長 ○副チーム長



鹿島市議会運営委員会

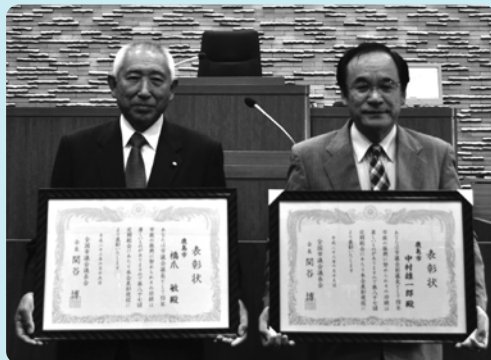


鹿島市議長

表彰

- 橋爪 敏 前議長(4年)
- 中村雄一郎 前副議長(4年)

去る6月15日、東京都で開催されました「第87回全国市議会議長会総会」において、「正副議長4年以上」の表彰が行われ、橋爪敏前議長と中村雄一郎前副議長が表彰されました。



その他の委員会

農商工連携推進特別委員会

- 委員長 光武 学
- 副委員長 勝屋弘貞
- 委員 中村一堯 稲富雅和 徳村博紀
水頭喜弘 橋爪 敏

まちなか活性化特別委員会

- 委員長 松尾勝利
- 副委員長 角田一美
- 委員 竹下 勇 伊東 茂 松本末治
福井 正 松尾征子

議会あれこれ

(平成23年4月～6月)

【4月】

- 7日 議会だより編集委員会
- 11日 市内小・中学校入学式
- 13日 議会だより編集委員会
- 15日 議会だより編集委員会

【5月】

- 2日 議員代表者会(5月臨時会招集請求)
- 13日 全員協議会
5月臨時会
全員協議会
- 16日 5月臨時会
議会運営委員会
- 17日 全員協議会
5月臨時会
全員協議会
- 24日 議会運営委員会
新任議員研修会
- 25日 新任議員研修会
- 27日 第201回佐賀県市議会議長会
- 28日 第27回鹿島ガタリンピック
韓国交流団歓迎式

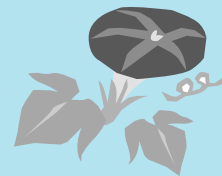
【6月】

- 6日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 7日 全員協議会
- 10日 議会運営委員会
- 13日 6月定例会 開会
- 14日 佐賀県臨時市議会議長会
- 15日 第87回全国市議会議長会定期総会
- 16日 第57回かすみがせき佐賀会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 市議会議案審議
議会運営委員会
- 22日 文教厚生産業委員会
文教厚生産業委員協議会
- 24日 6月定例会 一般質問
全員協議会
- 27日 6月定例会 一般質問
- 28日 6月定例会 一般質問
- 29日 6月定例会 一般質問
- 30日 議会運営委員会
6月定例会 委員長報告・議案審議・閉会
全員協議会

金額単位：円

公表します、議長交際費。

区分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰			1	15,000			1	15,000
見舞い								
祝儀					4	18,000	4	18,000
会費			2	10,000			2	10,000
接遇								
その他			1	4,200	1	2,800	2	7,000
合計			4	29,200	5	20,800	9	50,000



3月11日に発生した東日本大震災から4か月が経過しました。被災地の皆様に改めてお見舞い申し上げます。そして、二日も早く復興することをお祈りいたします。

自粛ムードのなかで、4月には鹿島市議会議員選挙が行われ、16名の議員が誕生しました。今回は、5月の臨時会、6月の定例会の合併号で、議長・副議長・委員長・抱負など盛りだくさんになりました。議会だよりが皆様の信頼と負託にこたえていけるよう一同頑張つてまいりたいと思っております。

編集後記

【編集委員】委員長 光武学
副委員長 角田一美
委員 橋爪敏
中村一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

